

シリーズ わたし す きょうと 私の好きな京都

発行：(公財) 京都市国際交流協会 https://www.kcif.or.jp

きょう ある そら み おも で まちなみ 京を歩く - 空から見た思い出の町並

ティムール・サンドロヴィッチ (ウクライナ)

もし誰かに、京都で一番の思い出は何かと聞かれたら、それは町中ではなく空から見たこの町の佇まいです、と答えるつもりです。それはいつ頃だったのか、はっきりとは覚えていませんが、恐らく約7、8年前のことだったと思います。

私は飛行機で、東京からヨーロッパのある都市に向ってしました。その時の航路は、理由は余り良く分らなかったのですが、日本海からアジア大陸を通してロシア北部を経由するルートではありませんでした。今回のフライトは東京を出発して西日本に向い、その後朝鮮半島を経由するルートでした。私は、このことについて詳しく書こうと思います。と言うのは、途中飛行機の窓越しに眺めていると、その景色には妙に見覚えがあるような気がしたからです。二つの川が合流して造られた広い三角州と、すぐ側には寄り添うように橋が架かり、北の方には遠く山々が望めます。数か所の多くの樹に囲まれた所や、このデルタから南西の方角には、とても広い緑に包まれた長方形の一面などがある風景でした。



著者

そこを見ている内に、私が目にしているのは実は、京都の出町柳駅の近くだと分かりました。樹がいっぱいの所は神社で、さらに広く青々とした長方形の所は、私がいつも御所と言っていた、すなわち、かつて天皇の住まいもあった京都御苑に違いありません。同時に、毎日のように歩いた数々の散歩道や、いろいろな人との出会いの場などのお陰で、空から京都に気づくことができたのだと思いました。いくつか例を挙げてみると、嵐山、西陣、上賀茂、下鴨、御所、錦市場や繁華街などです。

時間に余裕があれば、いつでもこの町を歩いてみてください。これこそ、私がこのエッセイを読んでいる皆さんに勧めたいことです。京都は、どんな天気の時でも素晴らしい町です。京都を歩けば、この町の滞在経験が決して忘れられないものになるでしょう。私のイチオシは、鴨川、高野川、桂川や、その他の小さな川などの川沿いウォーキングです。

6 ページに続く

©あなたの感想を聞かせてください！ → office@kcif.or.jp

外国人のための情報誌「Life in Kyoto」でPRしませんか？ ADVERTISE your activities in the "Life in Kyoto" newsletter!



広告募集中!!

1枠 10,000円〜 ☎075-752-3511 ✉office@kcif.or.jp

「Life in Kyoto」を一緒につくりませんか？

ボランティアスタッフ募集

企画、取材、執筆、編集...etc あなたの「得意」を活かしませんか？

お気軽に お問合せください ☎075-752-3511 ✉office@kcif.or.jp

